eastspring investments

交付運用報告書

イーストスプリング・インドネシア債券オープン(毎月決算型)／(年２回決算型)

追加型投信／海外／債券

作成対象期間 2026年２月19日～2026年８月18日

(毎月決算型)

第167期 2026年３月18日決算 第170期 2026年６月18日決算
第168期 2026年４月20日決算 第171期 2026年７月21日決算
第169期 2026年５月18日決算 第172期 2026年８月18日決算

(年２回決算型)

第17期 2026年８月18日決算

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてインドネシアの債券に投資を行う投資信託証券に投資を行い、インカム・ゲインの確保および中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜わりますよう、お願い申し上げます。

(毎月決算型)　日経新聞掲載名：ネシア債

第172期末(2026年８月18日)	
基準価額	4,052円
純資産総額	8,637百万円
第167期～第172期	
騰落率	△ 3.6%
分配金(税込み)合計	180円

(年２回決算型)　日経新聞掲載名：ネシア債２

第17期末(2026年８月18日)	
基準価額	15,894円
純資産総額	946百万円
第17期	
騰落率	△ 3.7%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
〒100-6905
東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング
https://www.eastspring.co.jp/
〔お問い合わせ先〕
電話番号：03-5224-3400
(受付時間は営業日の午前９時から午後５時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

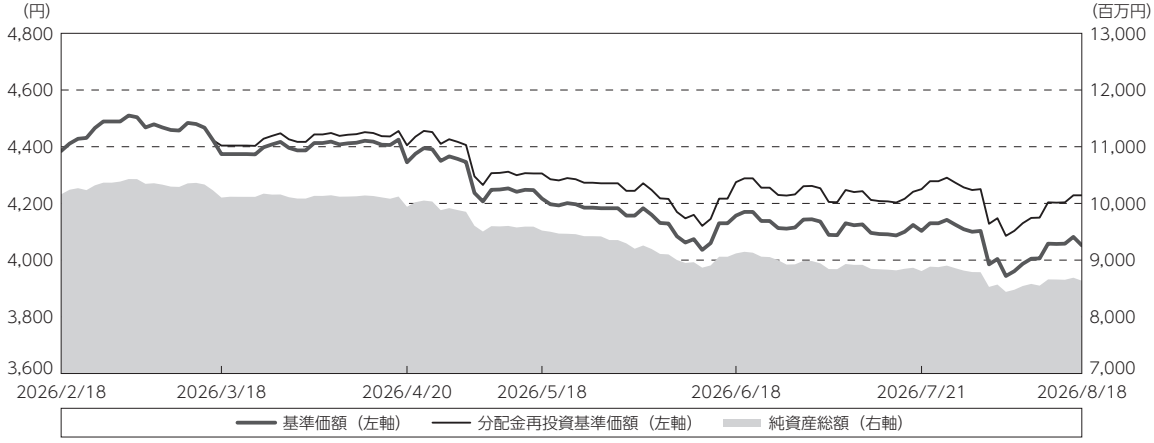
＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書（全体版）」を選択

運用経過

(毎月決算型)

基準価額等の推移について

(2026年2月19日～2026年8月18日)



第167期首： 4,385円
第172期末： 4,052円（既払分配金(税込み)：180円）
騰 落 率：△ 3.6%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2026年2月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。

(下落要因)
・債券価格が下落（利回りは上昇）したこと。
・インドネシアルピアが対円で下落したこと。

１万口当たりの費用明細

（2026年2月19日～2026年8月18日）

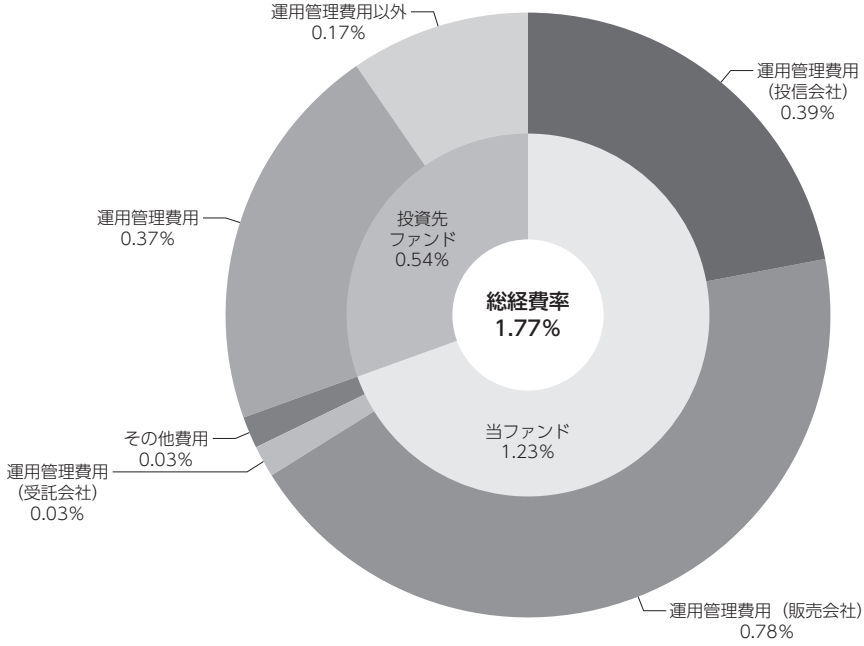
項目	第167期～第172期 金額	第167期～第172期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	25	0.595	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(8)	(0.195)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(16)	(0.387)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.013	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.009)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(0)	(0.004)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	26	0.608	
作成期間の平均基準価額は、4,257円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

（参考情報）

◯総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



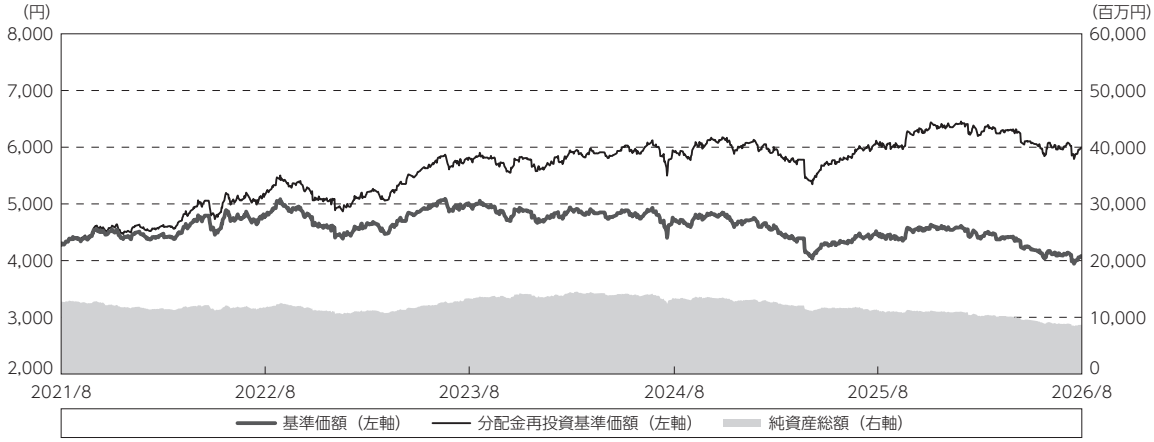
（単位：%）

総経費率（①＋②＋③）	**1.77**
①当ファンドの費用の比率	1.23
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.37
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.17

（注）①の費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。
（注）①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移について

(2021年8月18日～2026年8月18日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、2021年８月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年８月18日 決算日	2022年８月18日 決算日	2023年８月18日 決算日	2024年８月19日 決算日	2025年８月18日 決算日	2026年８月18日 決算日
基準価額 (円)	4,273	4,772	4,983	4,706	4,447	4,052
期間分配金合計(税込み) (円)	－	360	360	360	360	360
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	－	20.9	12.6	1.7	2.4	△ 1.0
純資産総額 (百万円)	12,699	11,687	13,332	13,283	11,219	8,637

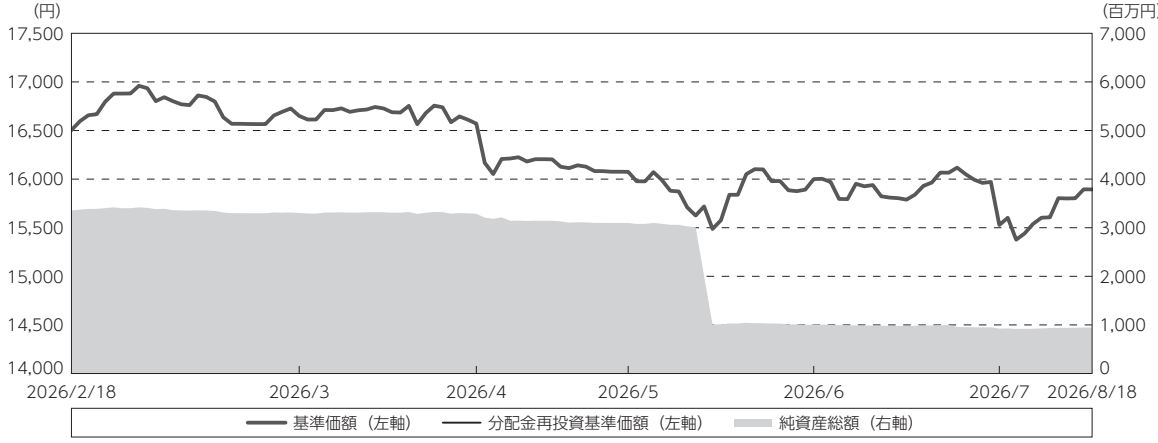
(注) 上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
(注) 騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

運用経過

(年２回決算型)

基準価額等の推移について

(2026年2月19日～2026年8月18日)



期　首：16,504円
期　末：15,894円（既払分配金(税込み)：0円）
騰落率：△ 3.7%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2026年２月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
(注) 上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)
・債券価格が下落（利回りは上昇）したこと。
・インドネシアルピアが対円で下落したこと。

１万口当たりの費用明細

（2026年2月19日～2026年8月18日）

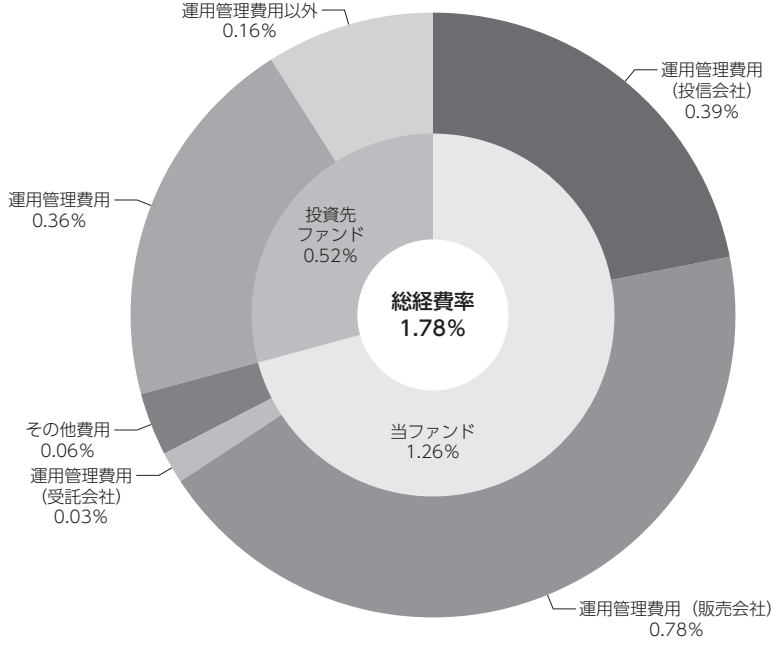
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	97	0.595	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(32)	(0.195)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(63)	(0.387)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	5	0.031	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(3)	(0.019)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(2)	(0.012)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	102	0.626	
期中の平均基準価額は、16,284円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

（参考情報）

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78%です。



（単位：%）

総経費率（①＋②＋③）	**1.78**
①当ファンドの費用の比率	1.26
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.36
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16

（注）①の費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。
（注）①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移について

(2021年8月18日～2026年8月18日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、2021年８月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年８月18日 決算日	2022年８月18日 決算日	2023年８月18日 決算日	2024年８月19日 決算日	2025年８月18日 決算日	2026年８月18日 決算日
基準価額 (円)	11,519	13,732	15,380	15,713	16,080	15,894
期間分配金合計(税込み) (円)	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	－	19.2	12.0	2.2	2.3	△ 1.2
純資産総額 (百万円)	272	657	1,627	4,303	3,403	946

(注) 上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
(注) 騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

インドネシア債券市場

当（作成）期、インドネシア債券の価格は下落しました。

当（作成）期初から2026年３月にかけて、ムーディーズによる格付け見通しの引き下げや、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格上昇を背景とした財政悪化懸念などから、インドネシア国債利回りは上昇しました。その後、中東での一時停戦報道などが好感され、利回りが低下する局面もありましたが、インドネシアルピア安の進行を受けて、インドネシア中央銀行（BI）は５月から６月に合計３回、累計で100bpの利上げを実施しました。しかし、利上げ後も財政規律を巡る警戒感や、中東情勢を巡る不透明感などを背景に利回りは再び上昇しました。当（作成）期末にかけては、海外投資家からの資金流入や、政府が2027年度の財政赤字目標を引き下げたことなどが好感され、利回りは低下しました。当（作成）期を通してみると、インドネシア国債利回りは上昇し、債券価格は下落しました。

為替市場

当（作成）期、インドネシアルピアは対米ドル、対円ともに下落しました。

当（作成）期初から、プラボウォ政権の政策運営に対する不透明感や財政悪化懸念に加え、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格上昇を背景とした経常収支悪化への懸念などから、インドネシアルピアは軟調に推移しました。下落圧力が強まるなかで、BIは2026年５月から６月にかけて複数回の利上げを実施しました。BIによる積極的な金融引き締めや市場安定化策を受けて、海外投資家の資金流入が回復し、インドネシアルピアは下げ止まりました。当（作成）期末にかけては、政府が2027年度の財政赤字目標を引き下げるなど財政規律を重視する姿勢が好感されたものの、当（作成）期を通してみると、インドネシアルピアは対米ドル、対円ともに下落しました。

国内債券市場

当（作成）期、日本国債の価格は下落（利回りは上昇）しました。

原油高や円安を受けたインフレ圧力の高まりや、高市政権の掲げる拡張的な財政政策への警戒などから、日本の長期金利は上昇しました。日銀は2026年６月に政策金利を0.25％引き上げ、0.75％から１％としました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）／（年２回決算型）

主要な投資対象のひとつであるイーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド（以下「インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

主としてインドネシアの債券に投資を行い、インカムゲインの確保とトータル・リターンの最大化を目指して運用を行いました。当（作成）期は債券価格が下落したことが基準価額のマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（１－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（毎月決算型）

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期	第172期
	2026年２月19日～2026年３月18日	2026年３月19日～2026年４月20日	2026年４月21日～2026年５月18日	2026年５月19日～2026年６月18日	2026年６月19日～2026年７月21日	2026年７月22日～2026年８月18日
当期分配金	30	30	30	30	30	30
（対基準価額比率）	0.681%	0.686%	0.706%	0.717%	0.726%	0.735%
当期の収益	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	716	719	721	724	727	731

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。
（注）－印は該当がないことを示しています。

（年２回決算型）

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第17期
	2026年２月19日～2026年８月18日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	10,294

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。
（注）－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）／（年２回決算型）

主要な投資対象のひとつであるインドネシア・ボンド・マスター・ファンドの組入比率を高位に保つことを基本とします。

インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

BIは2026年６月に２度の利上げを実施しましたが、７月は政策金利を据え置く一方で、インドネシアルピアの安定のため、海外資金流入の促進などを目的とした施策を導入しました。インドネシアルピア相場の安定は、インドネシア国債に対する投資家心理の改善につながることから、BIの金融政策運営は引き続き、インドネシア国債市場の下支え要因になると考えています。

しかしながら、インドネシアの中期的な財政方針や財政赤字目標には、依然として不透明な点が残っています。そのため、当該ファンドでは、政府の財政規律に対する姿勢が明確になるまで、慎重な運用姿勢を維持する方針です。BIによる為替の安定と経済成長の両立は可能だとみていますが、インフレ上振れリスクの高まりやインドネシアルピアの下落が続いていることは、金融緩和余地を短期的に縮小させる要因になると考えています。市場では追加利上げや政治リスクを一定程度織り込んでいることから、当面は中立的なスタンスを維持しつつ、利回り上昇局面では中期ゾーンや短期ゾーンの債券を買い増すことを検討しています。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（１－10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

お知らせ

2026年４月１日付で一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会が統合し、「一般社団法人資産運用業協会」となりましたので、投資信託約款に所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	(毎月決算型)　無期限（2012年２月29日設定） (年２回決算型)無期限（2018年２月28日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの債券に投資を行うことにより、インカム・ゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資信託「イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」(円建て)の受益証券および日本の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け)」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	(毎月決算型)　毎月18日（休業日の場合は翌営業日） (年２回決算型)毎年２月18日および８月18日（休業日の場合は翌営業日） 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

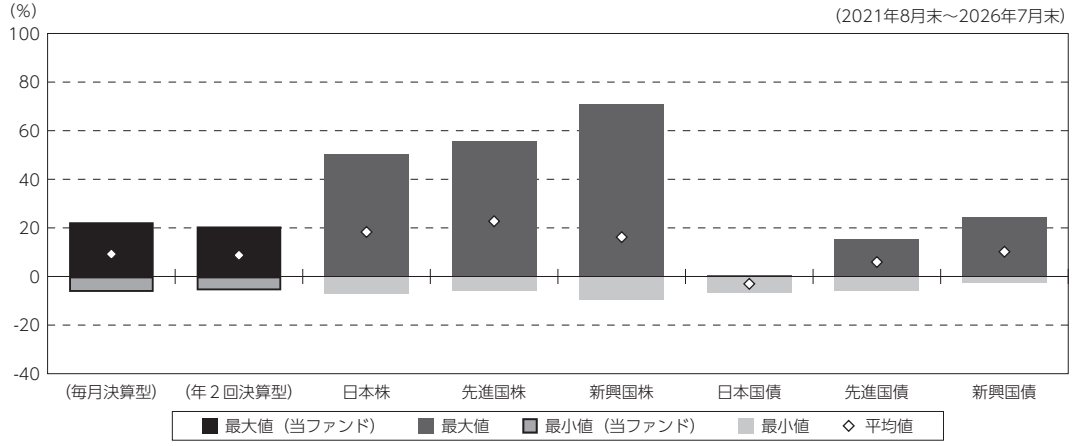
指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け)」のベンチマーク（ICE BofA 国債インデックス（１－10年債））について

ICEの指数データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（以下「ICE Data」）及び／またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	(毎月決算型)	(年2回決算型)	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	22.3	20.6	50.5	55.7	71.2	0.6	15.4	24.5
最小値	△ 6.4	△ 5.7	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	9.2	8.8	18.3	22.7	16.2	△ 3.0	6.0	10.2

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2021年８月から2026年７月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：配当込みTOPIX
先進国株：MSCI － KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA － BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

(毎月決算型)

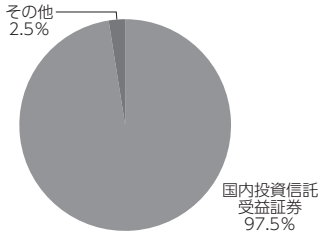
当ファンドの組入資産の内容

○組入上位ファンド

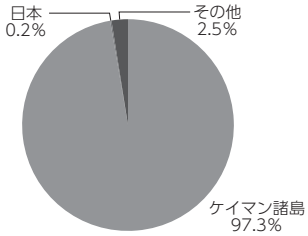
銘柄名	第172期末
	%
イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	97.3
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型Ⅰ(適格機関投資家向け)	0.2
組入銘柄数	2銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

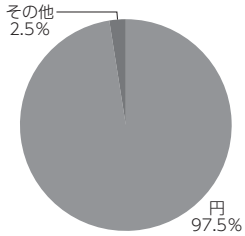
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第167期末	第168期末	第169期末	第170期末	第171期末	第172期末
	2026年3月18日	2026年4月20日	2026年5月18日	2026年6月18日	2026年7月21日	2026年8月18日
純資産総額	10,103,117,747円	9,940,753,278円	9,521,625,120円	9,118,038,617円	8,806,703,767円	8,637,027,797円
受益権総口数	23,095,968,027口	22,880,923,781口	22,579,081,754口	21,933,885,671口	21,463,935,276口	21,316,049,146口
1万口当たり基準価額	4,374円	4,345円	4,217円	4,157円	4,103円	4,052円

(注) 当作成期間(第167期～第172期)中における追加設定元本額は810,941,805円、同解約元本額は2,665,332,716円です。

ファンドデータ

(年２回決算型)

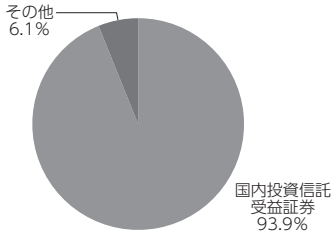
当ファンドの組入資産の内容

○組入上位ファンド

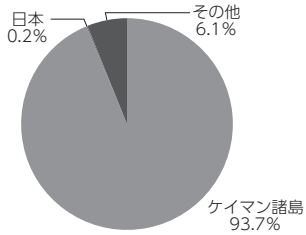
銘　　柄　　名	第17期末
	%
イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	93.7
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型Ⅰ(適格機関投資家向け)	0.2
組入銘柄数	2銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

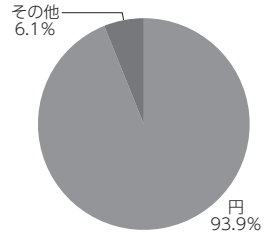
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

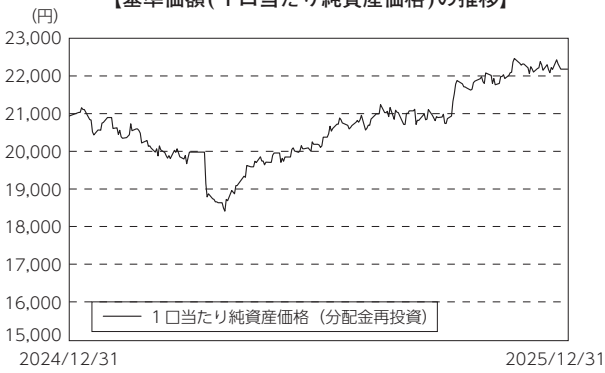
項　　目	第17期末
	2026年８月18日
純資産総額	946,539,669円
受益権総口数	595,534,105口
１万口当たり基準価額	15,894円

(注) 当期中における追加設定元本額は13,435,606円、同解約元本額は1,450,592,407円です。

組入上位ファンドの概要

イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

【基準価額(１口当たり純資産価格)の推移】



【１万口当たりの費用明細】

(2025年1月1日～2025年12月31日)

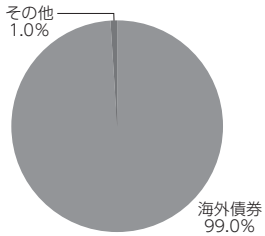
当該期間のFinancial Statements（監査済み）には、１万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

【組入上位10銘柄】

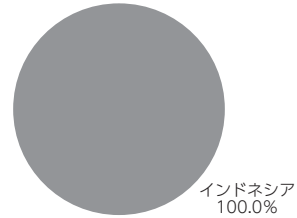
(2025年12月31日現在)

	銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
1	インドネシア国債	国債	6.500%	2031/02/15	インドネシア	10.6%
2	インドネシア国債	国債	6.625%	2034/02/15	インドネシア	8.1%
3	インドネシア国債	国債	7.000%	2030/09/15	インドネシア	7.8%
4	インドネシア国債	国債	8.750%	2044/02/15	インドネシア	6.0%
5	インドネシア国債	国債	9.500%	2041/05/15	インドネシア	5.2%
6	インドネシア国債	国債	6.875%	2029/04/15	インドネシア	4.9%
7	インドネシア国債	国債	6.625%	2033/05/15	インドネシア	4.5%
8	インドネシア国債	国債	7.500%	2040/04/15	インドネシア	4.2%
9	インドネシア国債	国債	8.375%	2034/03/15	インドネシア	4.0%
10	インドネシア国債	国債	7.500%	2035/06/15	インドネシア	4.0%
組入銘柄数		35銘柄				

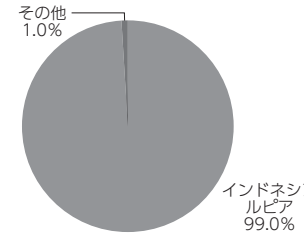
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

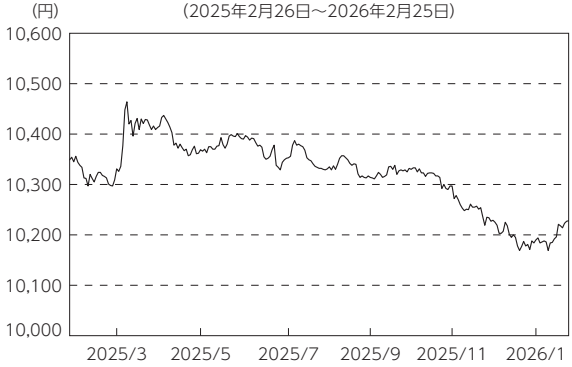


(注) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの（監査済みおよび同時点の関連データを含む）を使用しています。
(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。
(注) インドネシアルピア以外の通貨建ての債券に投資を行う場合には、原則として、実質的にインドネシアルピア建てとなるよう為替取引を行いますので、通貨別配分は当該為替取引を考慮し算出しています。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

(2025年２月26日～2026年２月25日)

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 信託報酬	23	0.220
(投信会社)	(15)	(0.143)
(販売会社)	(2)	(0.022)
(受託会社)	(6)	(0.055)
(b) その他費用	1	0.013
(監査費用)	(1)	(0.013)
合計	24	0.233
期中の平均基準価額は、10,325円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

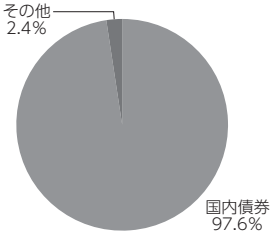
【組入上位10銘柄】

(2026年２月25日現在)

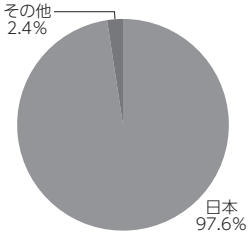
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	第359回利付国債(10年)	国債	円	日本	21.8
2	第91回利付国債(20年)	国債	円	日本	18.0
3	第117回利付国債(20年)	国債	円	日本	13.5
4	第14回利付国債(30年)	国債	円	日本	9.1
5	第351回利付国債(10年)	国債	円	日本	7.8
6	第354回利付国債(10年)	国債	円	日本	7.5
7	第87回利付国債(20年)	国債	円	日本	7.3
8	第378回利付国債(10年)	国債	円	日本	6.9
9	第13回利付国債(30年)	国債	円	日本	5.6
10	－	－	－	－	－
組入銘柄数		９銘柄			

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

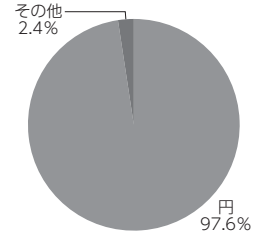
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社の知的財産です。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。